

令和8年

第2回

学校協働運営協議会

<次第>

- 1 会長あいさつ
- 2 学校長あいさつ
- 3 授業を参観しての意見交流
- 4 指導部長より
- 5 その他（情報交換 等）

<資料>

◇学校公開・授業参観アンケート

◇全国学力・学習状況調査 結果

令和8年9月3日（木）

於 横浜市立善部小学校 図書館

学校
教育
目標

「であい ふれあい ひびきあい」

- 基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び続けようとする子を育てます。(知)
- 人権教育を推進し、みんなが安心して豊かに生活しようとする子を育てます。(徳)
- 自らの健康や安全に関心をもち、健やかでたくましい体をつくろうとする子を育てます。(体)
- 家庭・地域・学校が連携を深め、地域・社会に積極的にいかかわろうとする子を育てます。(公)
- 様々な人とのふれあいを通して、自らの考えや視野を広げようとする子を育てます。(開)

学校
概要

創立 48 周年 学校長 朝川 健太郎 副校長 小西 隆一郎 2 学期制 一般学級: 17 個別支援学級: 4
児童生徒数: 490 人 主な関係校: 南希望が丘中学校 希望ヶ丘小学校 横浜隼人中学高等学校

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<言語能力>

<自分づくりに関する力>

南希望が丘中
ブロック南希望が丘中
学校
希望ヶ丘小学校
善部小学校小中一貫教育推進ブロックにおける
育成を目指す資質・能力を踏まえた
「9年間で育てる子ども像」と具体的取組自分をとりまく人々と積極的にいかかわりを持ち、
自分で考え挑戦し、ともに学ぶことができる子ども

- ・9年間のつながりを基盤に児童生徒が意欲をもち、相互に学び合う授業づくりを進める
- ・自分の意志や思考をもって行動を選択し、自分の考えや気持ちを表現できる子の育成を目指す。
- ・勇気をもって挑戦できる子を育てるために、失敗を見守りながら気づかせ自己効力感を育てる。
- ・相互理解を深めるため、小中合同授業研究を実施する。(年2回)
- ・子ども像を共有しながら児童生徒指導や学習指導等の情報交換を行い、共通理解を深める。

中
期
取
組
目
標

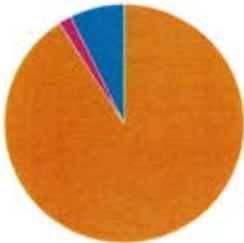
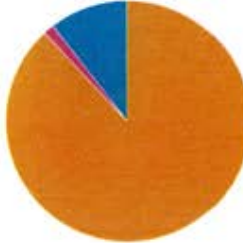
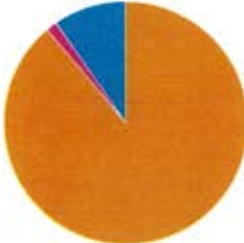
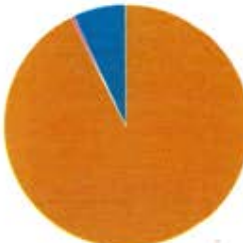
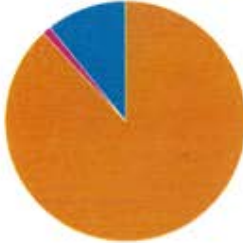
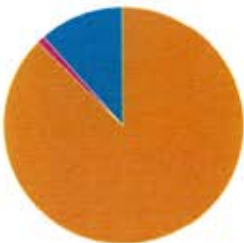
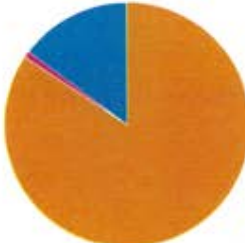
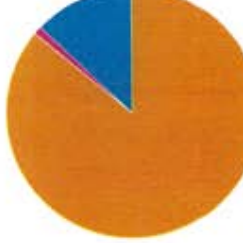
- 子ども一人ひとりの思いを大切に、多くの人とのかかわりや体験活動を通した主体的な学びの充実を図ります。
- ・一人ひとりが自分の思いを表現できる授業づくりを推進します。
- ・地域や家庭、関係諸機関と連携し、いろいろな人とのかかわりから、自他のよさをとらえる力を育みます。
- ・スマイル班(縦割り班)などの活動を通して、互いのよさを認め合い、楽しい学校生活が送れるようにします。
- 自らの健康や安全に関心をもち、データを活用しながら健やかでたくましい心と体づくりの充実を図ります。
- ・体力・運動能力の結果や健康観察の状況を踏まえながら、学校保健委員会や体力アップ活動を通して体力向上を図ります。

重点取組分野

具体的取組

知	学習指導	校内重点研究テーマを「主体的に学習に取り組み、自己の学びを調整しながら、思いや考えを表現する子の育成」とし、日々の授業や授業研究会を通して①児童が主体的に学習する具体的な姿を明らかにし、その手立てを追求していく。また、②他者との対話や協働を大切にしながら自分の学習を自己調整していくことができる児童を目指して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業づくりに挑戦していく。これらは③サブテーマにある「身に付ける資質能力を明らかにした授業づくり」を通して行っていくものとする。
担当	学力向上	
徳	人権教育	①一人ひとりを認め、個を生かすために、日々の道徳教育の充実を図る。②人権週間では、講話や体験、こども会議を通して、自他の良さに気づき、互いに認めあう心を育てる。③自分の思いを表現できるように、スマイル班活動や異学年の交流の充実を図る。④子ども一人ひとりの思いを大切にするために、職員の人権に対する意識を高める研修を実施する。
担当	豊かな心	
体	健康教育	①子ども主体で計画された運動集会や体力アップ遊びを定期的に行う。楽しく体を動かす機会を設定し、日常的に運動に取り組むことで更なる体力向上を図る。②家庭と連携し、特に運動、食育、歯科保健教育に力を入れる。③ICTを活用した学校保健委員会を通して、子どもが自身の生活や行動を振り返り、規則正しい生活を送ることの大切さや安全な行動の必要性に気づき、実践できるようにする。
担当	体力向上	
公 開	地域交流	①子ども一人ひとりの思いを大切に主体的な学びの充実のために、主に生活科や総合的学習の時間、社会科を中心に様々な教科で地域の特色を生かした学習を展開する。②「一緒にあそびたい」「招待したい」「学校を案内したい」という思いを幼保小連携で取り入れながら交流を深め、自分の成長や変容を感じることができるようにする。
担当	地域連携・防災	
いじめへの対応		①毎日の健康観察や職員の情報交換を行い、児童の心の状態を把握する。また、日頃から子ども達や保護者が安心して相談できる関係性や雰囲気作りを全職員が意識する。②月1回以上の防止対策委員会を行う。いじめの内容確認に留まらず、具体的な対応策を協議するなどいじめの早期発見・早期対応につなげる。③年2回のアンケート、児童対象の教育相談を行い、子どものSOSや思いに寄り添い、解決に向けて継続的に取り組む。
担当	いじめ防止	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①5年次以下の教員を対象に「スマイル塾」を組織し、ミドルリーダーが中心となって月1回の活動を継続し、若手職員の指導力向上を目指す。②日々の教材研究、研究会・研修会への積極的な参加を通して、自ら授業力向上に努める。③研究・研修部、指導部で全職員が役割を担い、学校運営に参画する。④会議の精選をしたり、ICTの更なる効果的な活用について情報収集や共有をしたりして組織的な働き方改革につなげる。
担当	教務	
特別支援教育		①一人ひとりのなりたい自分像に寄り添った個別的教育支援計画や指導計画を作成・活用する。②一人ひとりにあった支援が行えるように、関係機関と連携したり、「どこでもスタディー」などを活用したりするなど個別のニーズに合わせて様々なアプローチをする。③特別支援においてICTを効果的に活用していけるようにする。
担当	特別支援教育	
児童生徒指導		①善部小ルールブックを意識して取り組むことができるように、学期ごとに決まりの確認をする。子どもの意見を取り入れて改善していく。②職員会議での「こどもの話」を全職員で共有し、子どもの思いに寄り添えるようにする。③YPアセスメントやLゲートの様子から子どもの困り感に寄り添っていく。また、児童理解を深めていきたい。
担当	児童指導	
情報教育		①「個別最適な学び」の実現に向けて、教職員が授業でのICTを効果的に活用し、授業事例を蓄積するとともに、情報教育を発信していく。②学校図書館や電子書籍などの図書の利用を通して、溢れる情報から必要なものを選択する力や言語活動の充実を目指す。③一人一台端末の効果的な活用を子どもの興味を大切にしながら目指すとともに、ネット社会での利便性と危険に関する情報モラル教育を推進する。
担当	情報教育	
担当		

5月23日学校公開 7月2日授業参観 アンケート結果

5月23日学校公開	7月2日授業参観
児童が思いや考えを表現している様子が見られましたか	
 ●はい:321(90.9%) ●いいえ:6(1.7%) ●どちらともいえない:26(7.4%)	 ●はい:252(88.1%) ●いいえ:4(1.4%) ●どちらともいえない:30(10.5%)
児童が主体的に学習に取り組んでいる様子が見られましたか	
 ●はい:314(89.0%) ●いいえ:5(1.4%) ●どちらともいえない:34(9.6%)	 ●はい:265(92.7%) ●いいえ:1(0.3%) ●どちらともいえない:20(7.0%)
児童が友達の意見を受け止め、互いに認め合う姿が見られましたか。	
 ●はい:311(88.1%) ●いいえ:4(1.1%) ●どちらともいえない:38(10.8%)	 ●はい:250(87.4%) ●いいえ:3(1.0%) ●どちらともいえない:33(11.5%)
児童一人ひとりに寄り添った支援がされていましたか。	
 ●はい:298(84.4%) ●いいえ:3(0.8%) ●どちらともいえない:52(14.7%)	 ●はい:246(86.0%) ●いいえ:3(1.0%) ●どちらともいえない:37(12.9%)

令和8年9月14日

6年生保護者様

横浜市立善部小学校

校長 朝川 健太郎

令和8年度 全国学力・学習状況調査について(報告)

令和8年4月23日に、小学6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1 各教科の平均正答率(%)

	国語	算数
本校	59	56
神奈川県	61	58
全国	60.9	56.4

2 各教科で顕著な結果が見られた設問

	教科	問われている力	本校	全国
全国平均より特に優れていた設問	国語	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる	53.7	48.9
		学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	83.6	80.0
		情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	58.2	55.6
	算数	数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	74.6	66.5
		示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	83.6	78.1
		帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる	79.1	74.9
全国平均より大きく下回った設問	国語	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる	47.8	57.9
	算数	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	44.8	56.2

3 児童質問紙の結果より

設問	本校	全国
朝食を毎日食べていますか	100.0	93.3
自分には、よいところがあると思いますか	86.6	85.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.0	95.8
学校に行くのは楽しいと思いますか	94.0	85.7
友達関係に満足していますか	89.6	91.1
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	89.6	80.8
5年生までに受けた授業で、PC/タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	ほぼ毎日 75.2	ほぼ毎日 68.8
国語の勉強は好きですか	52.2	57.4
算数の勉強は好きですか	61.2	57.6
将来の夢や目標を持っていますか	82.1	81.8
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94.0	91.4
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	82.1	77.9
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	82.1	78.4

4 今後の取組

- 各教科の結果としては、国語・算数ともに全国水準よりやや低い結果となりました。基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、自分の考えをまとめて表現したり、理由を明確にして説明したりする学習活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等の育成に取り組んでいきます。
- 「人の役に立ちたい／困っている人がいると助ける／いじめはどんな理由があってもいけないこと」などの項目に前向きな回答をした児童が多く、今後も豊かな心を育む教育活動を行っていきます。
- ICT機器に関する設問はどれも全国平均を上回る結果となりました。ICT機器を活用しながら学習を行ってきたことの成果だと捉え、今後も継続して取り組んでいきます。
- 学校に行くのが楽しいと答えた児童が全国平均を大きく上回りました。「地域や社会をよくするために何かしてみたい／普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」などの設問も高い結果となりました。今後も異学年交流や地域の方との交流を大切に教育活動に取り組んでいきます。
- 算数に比べて「国語の勉強が好き」と答えた児童がやや低い傾向が見られました。自分の考えを言葉で表現したり、多様な文章に親しんだりする経験は、すべての学びの基礎となります。授業での工夫はもちろん、日常会話の中でも言葉に触れる機会を大切にできるよう、取り組みを進めてまいります。また、人間関係の悩みや小さな変化にもきめ細かく寄り添い、子どもたち一人ひとりが安心して成長できる環境づくりに努めてまいります。

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないかなぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

一【花山さんの文章の一部】まで書き進めた花山さんは、読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうかを確かめています。花山さんの文章のくふうを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。
- 2 結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。
- 3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。
- 4 複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

6年生のさくらさんたちは、1年生と仲良くなるために交流会を計画しています。交流会では6年生と1年生がいっしょに、ボール遊び、おにごっこ、昔遊びをします。

(1) 1年生の各学級の人数は、下の表1のとおりです。

表1 1年生の各学級の人数 (人)

学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

さくらさんたちは、1年生にアンケートをとり、どの遊びに参加するかを1つ選んでもらいました。



さくら

アンケートは1年生全員から集め、無回答はありませんでした。

下の表2は、集めたアンケートを整理したものです。

表2 1年生が選んだ遊び (人)

遊び \ 学級	1組	2組	3組	合計
ボール遊び	9	14	8	31
おにごっこ	8	7	10	25
昔遊び	12	6	10	28
合計	29	27	28	84



えいた

1年生全員からアンケートを集めたのに、表2には、全員分のアンケートが整理されていないのではないのでしょうか。



さくら

全員分のアンケートが整理されていない学級があります。

表1と表2を見ると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」が1つあることがわかります。

「全員分のアンケートが整理されていない学級」は何組ですか。その学級を書きましょう。

また、そのことは、表1のどの部分と表2のどの部分を比べるとわかりますか。言葉と表1と表2の の中の数を使って書きましょう。

第2回 学校協働運営協議会 記録

日時： 令和8年9月3日（木）13:35～授業参観 14:30～協議会

場所： 授業参観（各教室） 協議会（学校図書館）

1. 立川会長挨拶

- ・熊本地震、千葉県豪雨災害で被災された方にお見舞い申し上げます。防災フェスタにぜひ参加を。
- ・授業参観では、昔の授業との違いを見ることができた。

2. 校長挨拶

- ・先日の防災訓練では、校舎に戻る訓練をしたが、熊本の地震を受けて適切かどうか検討したい。
- ・学校が始まって1週間ほどだったが、子どもたちは元気に登校している。
- ・授業をご覧になったの感想をぜひお聞きしたい。

3. 校長より

〈授業参観アンケート〉

- ・5月学校公開、7月授業参観ともに結果は良好。
- ・「どちらともいえない」と回答した方の理由がわからないので、分析したい。

〈全国学力・学習状況調査〉

- ・県の平均よりやや下回るが、全国平均より良かった設問も多い。
- ・覚えて解く問題は国・算とも得意。長い文章や図の読み取りは苦手。
国語：文章構成を読み取る問題は全国平均より弱い。長い文章に拒否反応。市学状でも長い文章は苦手な傾向。物語文より説明文が苦手。
算数：二次元表の読み取りが苦手。
- ・文章を読み取る力が弱いと算数の問題も解けない。これから力をつけていきたい。
- ・児童質問紙の回答はおおむね良好。朝食を食べている：100%、学校が楽しい：94% など。
- ・国語が好きな児童の割合は比較的少なく、算数は多い。

4. 授業参観の感想

〈全般・児童の様子〉

- ・休み明けだが、児童が元気よく明るく授業を受けていて、楽しそうな様子だった。
- ・全学年の様子を見られてよかった。児童の自然な姿、普段接しているときには見られない姿が見られた。
- ・みんな集中して授業を聞いていた。
- ・1年生が座って話をよく聞いている。保育園では「先生の話聞ける子に育てたい」と考えているので、ちゃんと座って授業を受けていることに感動した。
- ・しっかり学び、楽しんで育てられている感じがした。先生・児童の関係がよく、児童は一生懸命やっているし、児童は先生が好き。
- ・インフルエンザが増えているようだが、みんな元気な様子で病気も流行っていないようだった。

〈授業〉

- ・黒板の字がみんな上手で見やすかった。
- ・授業の中で教科が変わることがあった。自由裁量なのかなと感じた。

〈国語・本離れ〉

- ・学年が上がるごとに文章が難しくなり、算数の問題が解けなくなる。
- ・文章が読めないと算数の問題も解けない。中学では朝の 10 分間を読書タイムにしている。今後もできるだけ時間を確保したい。活字から離れさせないことを意識する必要がある。
- ・保育園でも読み聞かせ等の時間を確保している。また、図鑑で調べることを大事にしている。小学校で出会う iPad は楽しく、興味をひかれると思うが、図鑑で調べる時間は少なくなっていくだろうと思う。
- ・文章を読むのが苦手で、どこから読んだらいいかわからない、疲れてしまう、などの理由で本から離れてしまう子が多いのでは？本が苦手な子に強制することはできないので難しい。

〈書写〉

- ・書写の授業では、低学年が水筆、中学年は毛筆を使っていた。また、6 年生は図工で水墨画をやっていて、学習のつながりが感じられた。
- ・水筆はやり直しができ、「はらい」など漢字特有の書き方を勉強できるのがよいと思った。もう少し大きいとよいと思う。
- ・毛筆は（具体的な）言葉で教えている。専門家が教えているのか？←専科の教師が教えている。

〈タブレット〉

- ・1 年生から ICT を使っている。機器に「使われない」ように、うまく活用していかなければならない。

〈心の中の授業〉

- ・ハートに色をつけてどんな気持ちかを発表する場面にジーンときた。自分の気持ちをみんなに話せる場面は普段ないので大切だと思う。

〈教室環境〉

- ・廊下の夏休みの思い出の掲示物で、児童の様子を知ることができた。
- ・階段付近が蒸し暑かった。教室によりエアコンの効きにも差があるようだが、勉強しやすい気温になっているだろうか？

5. 指導部長より

- ・中期学校経営方針に基づく具体的な取り組みについて資料をもとに説明。

〈児童指導〉

- ・学期ごとに児童の意見を聞いて「善部小ルールブック」を改善している。
- ・職員会議で児童についての話を職員間で共有している。
- ・6 月・11 月に YP アセスメントを実施し、児童の心の変化やクラスに必要な力を分析している。

〈地域連携・防災〉

- ・生活・総合で地域の方のご協力を頂いている。

〈情報教育〉

- ・iPad は文房具であり、選択肢の一つ。自分に合ったスタイルで学ぶ手助けになるアイテム。教師も最適な手段を選び、個別最適な学びを目指す。
- ・iPad の Yomokka を活用している。たくさんの情報とふれあい、読解力をアップしたい。
- ・情報モラルについては、全学年共通で GIGA 開きの時間で考えるようにしている。

6. 質疑

Q.iPad の情報についての検定はあるのか。生成 Ai は使えるのか。

A.デジタル教科書は紙版と同じく検定済み。ブラウザで検索する際の情報は教育委員会によるフィルタリングがかかっている。生成 Ai は使おうと思えば使える。何でも本当と思ってしまうのが怖い。

Q.朝の登校時にボランティアは立っているのか。登校班があった時と比べてどうか。

A.安ボラや保護者が立っている。特に問題はないが、校外委員がいないので、登校中にけがなどがあれば学校に連れてくるようになってきている。(安ボラ)

Q.レベル4の災害があった際の児童の下校で注意していることは？中学の場合は自分で帰る場合があり、家が近い子・遠い子や崖などの危険個所に留意が必要。小学校とも連絡をとりながらやっていきたい。(中学)

A.家に保護者がいない場合があるので、(中学の場合とは違って)児童だけで帰すことはできない(引き取りになる)。

7. その他情報交換

- ・旧ヤマザキ付近で車が減速してくれない。中ノ原公園から旧ヤマザキの交差点に入ってくる道は指定時間外通行止めなのに入ってくる車がいる。タウンミーティングに意見を上げる予定。(安ボラ)
- ・何年か前、災害時に保育園と学校でトランシーバーを使ってやりとりする申し合わせ(チャンネル合わせ)をしたが、最近実施していない。9月1日の総合防災訓練の際には保育園ともつないでほしい。(善部保育園)
←地域防災訓練で自治体同士の連絡に毎年1回無線を使っている。園からの要望を伝える。(会長)
- ・総合防災訓練はできる範囲で希望ヶ丘小と同日の引き取り訓練を行いたい。ゆくゆくは中学ブロックで一緒にできるとよい。(中学)
- ・児童がランドセルにつけていた地区を示すリボンがなくなってしまったが、復活できないか。児童がどこの方面に帰るかわからないため。(安ボラ) ←以前は校外委員が作っていた。
- ・ZENBU Crewの活動を見直していきたい。必要な仕事もあるので、来年度に向けて何ができるか相談しなくては、と思っている。また、子ども110番の家をどう把握し、継続の意思を確認するかも課題。(ZENBU Crew)

〈校長より〉

- ・来年度から夏休み明けが9月1日スタートになる。猛暑対策のため。
- ・3月17日からグリーンEXPOが始まる。学校では遠足として参加するほか、児童全員にチケットを配布する。
- ・4年生の愛川宿泊体験学習を取りやめ、日帰りにする。バス代の負担が大きいこと、4年生の育ちの実情からして宿泊は厳しいと考えられることに加え、熊や虫に対する保護者の不安もあるため。

8. 今後の開催予定

- ・第3回運営協議会(ZSF)第4回運営協議会(全校遠足)は予定通り。
- ・第5回運営協議会は2月5日(金)に変更。